

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 社会学専攻)

(科目名:英語)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の英文を読んで問1～問10に答えなさい。解答は全て解答用紙に記入すること。

\*印の語句には注があります。

【引用部分は削除しています】

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:英語)

(社会学研究科 社会学専攻)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【引用部分は削除しています】

出典：

Neubeck, Kenneth J. & Davita Silfen Glasberg. 1996. *Sociology: A Critical Approach*.  
McGraw-Hill College.

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 社会学専攻)

(科目名:英語)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 1 下線部①the troubles that many people confront in their day-to-day lives の例として、本文中に挙げられていないものを一つ選び記号で答えなさい。

- (A) 軍事的行動 (B) 経済破綻 (C) 社会的孤立 (D) 自然災害

問 2 空所②に入る語として、もっとも適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

- (A) getting (B) gotten (C) gets (D) get

問 3 下線部③The discipline of sociology で始まる段落の内容に含まれないものを一つ選び記号で答えなさい。

- (A) 社会学は、社会に参加し、社会を造っていく存在としての人間を研究する。  
(B) 社会学的知識は、ジャーナリストやソーシャルワーカーなどに有用である。  
(C) 社会学者は、人々の行動に影響を与える社会情勢について調査する。  
(D) 社会学の究極の目的は、個々人の抱える諸問題の解決である。

問 4 空所④に入る語として、もっとも適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

- (A) to (B) for (C) on (D) from

問 5 下線部⑤this view の指し示す内容を、日本語で簡潔に説明しなさい。

問 6 下線部⑥Such questions の指す内容に含まれないものを一つ選び記号で答えなさい。

- (A) なぜ貧困が存在するのか？  
(B) 貧困は避けることができないか？  
(C) 貧困のもたらす影響はどのようなものか？  
(D) 貧困を排除するのに障害となるものは何か？

問 7 下線部⑦As you study sociology で始まる段落の内容を、特に sociology と psychology の異なる点に注意して、日本語で簡潔に要約しなさい。

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:英語)

(社会学研究科 社会学専攻)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 8 下線部⑧Psychologists and sociologists で始まる段落で述べられているものを一つ  
選び記号で答えなさい。

- (A) 社会学者と心理学者は、識見を共有することがよくある。
- (B) 心理学者も社会学者も、社会心理学への関心が不可欠である。
- (C) 社会学者と心理学者は、社会問題についての意見表明の機会が多い。
- (D) 心理学者は社会学者より、ものごとの全体像に焦点を当てる傾向がある。

問 9 空所⑨-a, ⑨-b に入れるのに、もっとも適切な組み合わせを一つ選び記号で答えな  
さい。

- (A) a sociologists      b anthropologists
- (B) a psychologists      b sociologists
- (C) a sociologists      b psychologists
- (D) a anthropologists      b sociologists

問 10 下線部⑩sociological imagination とはどのような考え方であると述べられていま  
すか。日本語で簡潔に説明しなさい。

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 社会学専攻)

(科目名:英語)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

解答用紙

問 1	
-----	--

問 2	
-----	--

問 3	
-----	--

問 4	
-----	--

問 5	
-----	--

問 6	
-----	--

問 7	
-----	--

問 8	
-----	--

問 9	
-----	--

問 10	
------	--

得点

# 2023年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 専攻共通)

(科目名:日本語)

2023年2月18日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題Ⅰ. 以下の文章を読んで、問1～問4に答えなさい。解答は、別紙解答用紙に書きなさい。

我が国は、長期の人口減少過程に入っており、特に地方部においては、深刻な人口流出や少子高齢化に直面し、今後とも、人口減少が続いていくと見込まれる。まち・ひと・しごと創生法に記載されているように、「将来にわたって活力ある日本社会を (ア)維持 していくためには、国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な (B)しゅうぎょう の機会を (イ)創出 を一体的に推進すること（以下「まち・ひと・しごと創生」という。）が重要」（第1条）である。

近年、若い女性の大都市圏への転入超過が増大しており、また、地方の都市部に周辺の地域から人口が (B)りゅうにゅう する状況もみられる。安心して暮らすために十分な (ウ)所得 とやりがいが見られる仕事ができ、家族を形成しやすく、暮らしやすい、女性にとって (C)みりよくてき な地域を作っていかなければ、持続可能な地域社会の発展は望めない。

地方出身の若い女性が東京で暮らし始めた目的や理由として、進学や就職だけでなく、「地元や親元を離れたかったから」といったことが挙げられている。その背景として、①固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス） が根強く存在しており女性の居場所と出番を奪っていることや、地方の企業経営者や管理職等の理解が足りず女性にとってやりがいを感じられず働きにくい環境であること、女性も男性も問題意識を持ちながらも具体的な (エ)行動変容 に至っていないことなどが考えられる。

一方、これまで地方との関わりが少なかった都市部の人が地方の価値や魅力を (D)さいにんしき し、都市と地方を往来したり、地方に (オ)定住 したりするなど、「田園回帰」の動きも見られ、移住や定住、地域おこし協力隊などで地方と関わる都市部の女性は増加している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により特に東京圏に住む人の地方移住への関心が高まっているとともに、②テレワークの導入やオンラインの活用が進み、地方の女性の働き方に関する新たな可能性ももたらされている。 こうした意識や行動の変化を踏まえ、地方との関わりを希望する女性の積極的な受入れや地方の女性の多様な (E)じゅうなん な働き方を支えるための環境整備が重要である。

出典：内閣府「第5次男女共同参画基本計画第2部第3分野 地域における男女共同参画の推進（令和2年12月25日閣議決定）」より抜粋 [https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/basic\\_plans/5th/pdf/2-03.pdf](https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/pdf/2-03.pdf)

問1. 次の漢字の読みを書きなさい。(配点：3点×5)

(ア)維持 (イ)創出 (ウ)所得 (エ)行動変容 (オ)定住

問2. 次のひらがなを漢字で書きなさい。(配点：3点×5)

(A)しゅうぎょう (B)りゅうにゅう (C)みりよくてき (D)さいにんしき (E)じゅうなん

問3. 下線部①が表す内容を説明しなさい。(字数は自由) (配点：10点)

問4. 下線部②の「新たな可能性」として、どのようなことが考えられますか。具体例を挙げ、それに対するあなた自身の考えを述べなさい。(字数は自由) (配点：20点)

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 専攻共通)

(科目名:日本語)

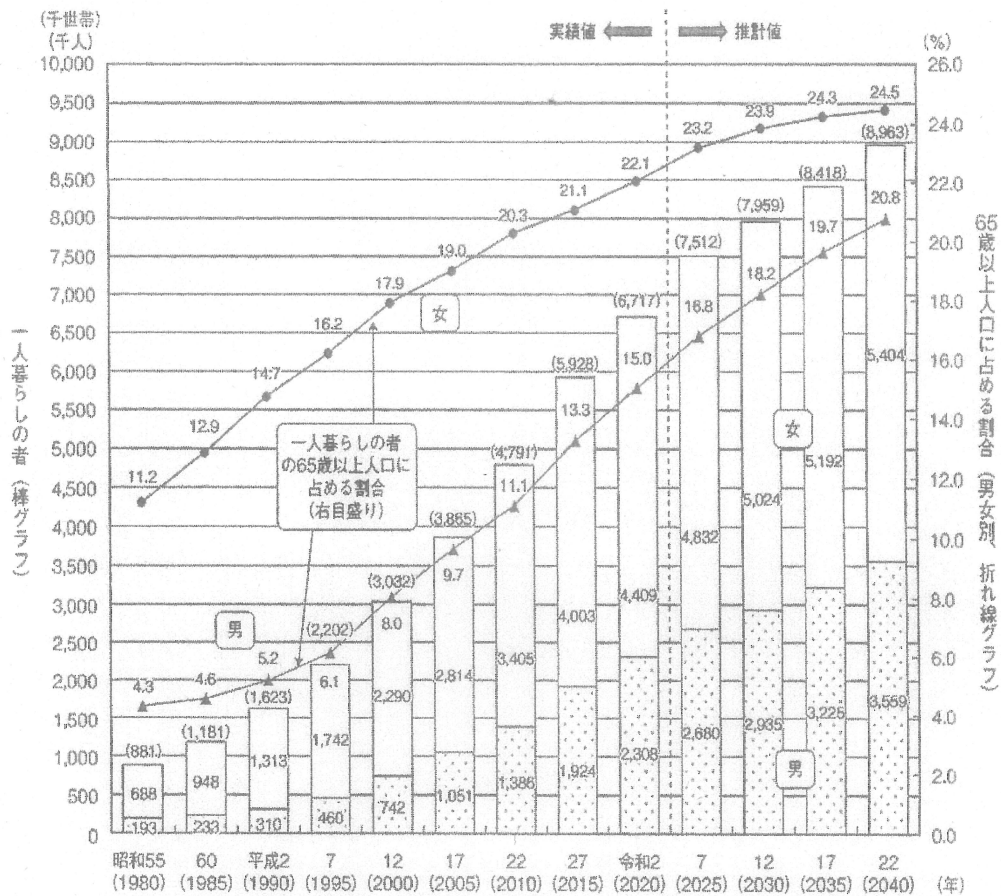
2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 11. 図で示されたデータは、内閣府による調査の結果である。「65 歳以上の一人暮らしの者」が 65 歳以上人口に占める割合は、1980 年では男性 4.3%、女性 11.2%であったが、2020 年には男性 15.0%、女性 22.1% (下図折れ線グラフ参照) と大きく増加している。

問 5. なぜこのような現象が生じたのか、およびこのことが社会に及ぼす影響は何かについて考察し、300 字程度にまとめなさい。(配点: 40 点)

図 65 歳以上の一人暮らしの者の数(棒グラフ)と、それが 65 歳以上人口に占める割合(折れ線グラフ)



資料: 令和 2 年までは総務省「国勢調査」による人数、令和 7 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2018(平成 30)年推計)による世帯数  
 (注 1) 「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単身世帯」又は「一般世帯(1 人)」のことを指す。  
 (注 2) 棒グラフ上の( )内は 65 歳以上の一人暮らしの者の男女計  
 (注 3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

出典: 内閣府『令和 4 年版 高齢社会白書』より抜粋  
[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/s1\\_1\\_3.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/s1_1_3.html)

2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 社会学専攻 社会学コース)

(科目名:社会学概論)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【問1】 次にあげた【A群】、【B群】、【C群】の中からそれぞれ1つずつ用語を選んで、それらについて説明しなさい。なお、その際に選択した番号も記入してください。

【A群】(20点)

- ① 相対的剥奪
- ② 感情労働
- ③ 社会移動(階層移動)

【B群】(20点)

- ④ 個人化
- ⑤ リスク社会
- ⑥ 社会関係資本

【C群】(20点)

- ⑦ 相関関係と因果関係
- ⑧ 無作為抽出
- ⑨ 半構造化面接法

【問2】 大学院に進学後、あなたが取り組もうと考えている研究テーマについて説明してください。その際、そのテーマをどのような社会学的視点から明らかにしようと考えていますか。また、どのような調査手法(文献調査も含む)で明らかにしようと考えていますか。わかりやすく説明してください。(40点)

得点



2023 年度 大学院（修士課程）入学試験問題

(社会学研究科 社会学専攻 ジャーナリズムコース)

(科目名: マス・コミュニケーション論)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の枠の中から言葉を 4 つ選び、簡潔に説明しなさい。□ は A~P の記号を記入する欄です。(字数は問いません)

(A) ビッグ・データ (Big Data)	(B) 疑似環境	(C) イーロン・マスク (Elon Musk)	(D) オピニオン・リーダー (Opinion Leader)
(E) メタバース (Metaverse)	(F) 権力監視	(G) M.マクルーハン (M. McLuhan)	(H) 記者会見 (Press Conference)
(I) 金盾 (Great Firewall)	(J) 地方紙	(K) J.S.ミル (John Stuart Mill)	(L) ファクト・チェック (Fact Check)
(M) ライブコマース (Live Commerce)	(N) 知る権利	(O) 黎智英 (Jimmy Lai Chee Ying)	(P) 内部告発 (Whistleblowing)

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

得点	
----	--

# 2023 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(社会学研究科 社会福祉学専攻)

(科目名:社会福祉原論)

2023 年 2 月 18 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の問いに答えなさい。問1は解答用紙表面、問2は裏面に記述すること。字数制限はありません。

問1 少子化は、どのような点において社会福祉の課題となるか。あなたの考えを述べよ。

問2 次の項目について、3行～5行程度で簡潔に説明しなさい。

- ①障害者差別解消法    ②社会福祉協議会    ③児童手当    ④地域包括ケアシステム  
⑤アドボカシー

得点